

中期経営計画SCOPE 2023とSDGs

サンデングループでは、中期経営計画SCOPE 2023に「事業を通じたSDGs達成への貢献」を重点項目のひとつとして組み込みました。SDGsへの取り組みは、グローバル社会からの要請を受け止め、社会に貢献することを使命としている当社グループにとって必要不可欠と考えています。そこで、SCOPE 2023で提唱する目指すべき姿「環境と快適が調和する豊かな社会の実現のために、時代を切り拓き続け、全ての人々から信頼される企業になる」に基づいた重点分野の抽出を行い、SDGsと事業活動とのかかわりを明確にしました。当社グループは、持続可能な社会の実現につながる企業活動を目指し、成長していきます。



中期経営計画目指すべき姿

「環境と快適が調和する豊かな社会の実現のために
時代を切り拓き続け 全ての人々から信頼される企業になる」

重点分野	背景・取り組む理由	代表的な取り組み事例	関連性の高いSDGs
良質な商品の提供と顧客満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社は「顧客のためになるよい製品を作ります」のもと、顧客第一、品質第一の実践が創業時より受け継がれてきた企業文化のDNA ■ コア技術「冷やす・あたためる」を基本に社会に快適を提供する使命 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境製品の研究開発の推進 (P7) ■ 継続的な調達改革 (P11) 	
地球環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1990年に「地球にやさしい企業でありたい」をいち早く宣言し、1997年には経営方針を「環境をコアに次の成長を果たす」として、積極的に環境経営を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ MFCAの展開 (P3、P8、P14) ■ 地域環境保全活動(主要5エリア) (P6-P9) 	
労働安全衛生の確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全・健康は全てに優先するとして、その確保を企業責任のひとつと捉え、企業理念体系に組み入れ、労働災害の撲滅や職場環境の改善に継続的に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全衛生憲章に沿った活動 (P13) 	
多様な人財の確保と育成	<ul style="list-style-type: none"> ■ グローバル企業としてさらなる成長のため、全ての社員の人権や多様性を尊重し、持てる能力を最大限発揮できる環境の整備を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 世界各地の慣習や文化の尊重 (P14) 	
コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際社会の一員として果たすべき法令やルールの順守は、社会から信頼されるグローバル企業としての基本的条件であり、社員も倫理観を持った行動ができるように教育等を徹底する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法令、国際ルールの順守 (P16) ■ GDPR 	

グループの継続的な成長による持続可能社会の実現への貢献

当社の企業活動とSDGsへの貢献

重点分野：良質な商品の提供と顧客満足度の向上

コア技術「冷やす、あたためる」で創出した企業価値を社会価値に転換

環境製品の研究開発の推進

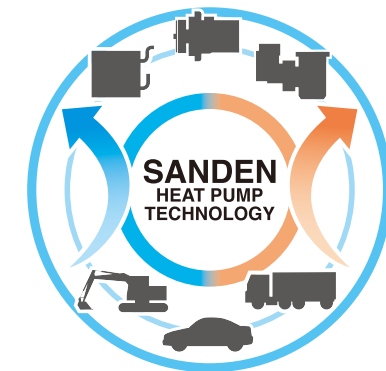
当社グループでは目まぐるしく変化する社会に対応するため、環境製品の研究開発にいち早く取り組んでまいりました。特に自動車業界では、プラグインハイブリッド、電気自動車(EV)、燃料電池車といった環境技術を駆使した製品への移行が急速に進んでいます。このような社会変化に対応する技術開発の成果として、電気自動車向けヒートポンプシステム、水加熱ヒーター、電動コンプレッサーなどを市場展開しています。自社の環境製品の普及を通して自然環境負荷の低減と快適空間の創出に貢献し、豊かな社会の実現を目指していきます。

■ 関連するSDGs

- <目標9> 産業と技術革新の基盤をつくろう
- <目標12> つくる責任 つかう責任
- <目標13> 気候変動に具体的な対策を

■ ゴールに貢献する活動

- ・製品環境指標導入 (2007～)
- ・電動コンプレッサーの市場展開 (2009～)
- ・電気自動車向け水加熱ヒーターの市場展開 (2017～)
- ・電気自動車向けヒートポンプシステムの市場展開 (2017～)



重点分野：地球/地球環境の保全、多様な人財の確保と育成

諸活動を通じた社員の意識改革

MFCA (マテリアルフローコスト会計) や環境製品開発を通じたサンデン環境マインドの浸透

当社グループでは、環境、安全衛生、品質など多様な視点から継続的な人財育成を行っています。特に、経営方針「環境から企業価値を創造するグローバル力と品質力を基礎に環境をコアにして次の成長を果たす」に沿って、環境マインドを持った社員の育成に注力してきました。海外拠点を含む全社でのMFCAへの取り組み、製品環境指標や当社独自の拠点別環境活動評価手法「環境活動レベル評価」の導入・実施といった活動は、製品の普及を通して地球環境保全に貢献するだけでなく、社員の自然環境に対する意識を高めることにもつながっています。国内拠点においては、eco検定(環境社会検定試験)の合格を社員教育のひとつの指標とし、全員の受験を推進しています。

多様性を受容しあう企業文化の醸成

世界各地に拠点を置き事業を展開する当社グループでは、国を超えて多様な文化を受容していくことが必要不可欠です。これまでに、海外の環境担当者の交流を図る「環境大会」や、全世界拠点から優秀な小集団サークルが一堂に会する品質管理大会として「STQM世界大会」などを実施してきました。社内報では、各拠点からトピックスを収集し、国内外に配信しています。

■ 関連するSDGs

- <目標4> 質の高い教育をみんなに
- <目標5> ジェンダー平等を実現しよう
- <目標8> 働きがいも経済成長も
- <目標12> つくる責任 つかう責任

■ ゴールに貢献する活動

- ・MFCA導入開始 (2005～) (P8)
- ・eco検定 (2009～) (P6)
- ・環境活動レベル評価 運用開始 (2008～) (P6)